

中村会計だより

2022年 新年号

発行：1月1日(土)

編集：広報委員会



新年あけましておめでとうございます。

昨年、お客様皆様より一方ならぬご厚情を頂き、誠にありがとうございました。

危機を乗り越える力

～事業環境の変化に対応し、経営課題に取り組んでいきましょう～

新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せる中、中小企業の皆様におかれては、原材料価格の上昇、在庫不足による需要の停滞など、昨年は課題を多くかかえた一年となりました。また、この感染症の流行は企業を事業継続の危機にさらすとともに、デジタル化の重要性を再認識させられる契機ともなりました。

昨年4月に公表された「2021年版中小企業白書・小規模企業白書」では危機を乗り越える力と題して、私達中小企業が克服すべき課題への対応が示されています。

中小企業白書の中では、事業環境の変化を転機と捉え、顧客のニーズや自社の強みに着目し、事業を見直すことが必要とされています。そして危機を乗り越えるためには、一つには「財務状況を把握し、事業環境の変化に合わせた経営戦略を立てること」、いま一つは、「デジタル化に積極的な組織文化の醸成や業務プロセスの見直しなどの組織改革を、経営者が関与し全体的に推進していくこと」、この2つが重要な取り組みになります。

具体的には、下記について一緒に取り組んでいきましょう。

1. 継続 MAS による中長期経営計画の策定

経営方針や事業環境などを整理する手法のひとつが、経営計画の策定です。経営計画の策定や運用を通して、自社におかれた事業環境や、その変化に対して取るべき行動を明確化し、経営改善のPDCAサイクルを回していくことが重要です。中小企業白書によると経営計画を十分に見直してきた企業の方が、感染症の影響が小さいことが分かっています。

2. 経理業務のデジタル化

令和4年1月1日から改正電子帳簿保存法が施行され、電子取引データについては、オリジナルデータの保存が義務化されます。また、令和5年10月から導入されるインボイス制度（適格請求書等保存方式）については、発行と受領の両方の立場から具体的な対応の検討が迫られます。これら電子データの電子的保存とインボイス制度への対応は、世界的に進むデジタル社会の実現に向けた第一歩であるともいえます。ぜひ、前向きに取り組んでいきましょう。

本年もスタッフ一同、全力でサポートして参ります。

変化の時代を乗り越え再び成長の軌道へつなげていきましょう。

2022 元旦 中村健税理士事務所 中村健

